

定 例 教 育 委 員 会 会 議 録

令和7年6月25日

境港市定例教育委員会（令和7年6月25日委員会会議録）

招集年月日 令和7年6月25日 15時30分

招集場所 境港市役所 第一会議室

開 会 15時30分 教育長宣言

教育委員会 教育長 山本 淳一

委 員（職務代理者） 中田 耕治

委 員 十河 淳 渡邊 不二子 大部 由美

教育長から説明のため出席を求められた者

次長兼教育総務課長 北 野 瑞 拓

生涯学習課長 角 純 也

教育総務課主査 築 谷 健 作

教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

傍聴者数 なし

会議書記 教育総務課長補佐兼管理係長 角 本 豪

提出議案 議案第26号 境港市文化財保護審議会委員の委嘱について

議案第27号 境港市子どもの読書活動推進計画検討委員の委嘱について

議案第28号 境港市社会教育委員の委嘱について

議案第29号 境港市就学支援委員会委員の任命について

議案第30号 境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

協議事項 6月定例市議会教育委員会関係質問答弁について

予算関係事項 令和7年度6月補正予算について

報告事項 6月の行事報告、7月の行事予定

境港市民図書館の利用状況について

【１．開会】

山本教育長

皆様お揃いのようなのでただいまから６月の定例教育委員会を始めます。

【２．前回議事録承認】

【３．議事】

山本教育長

議案 26 号、境港市文化財保護審議会委員の委嘱について説明をお願いします。

角課長

境港市文化財保護審議会委員の委嘱です。現在の委員の任期が、今月の 6 月 30 日までとなっておりまして、新たに 7 月 1 日から 2 年間の任期でスタートするものであります。次のページの、委員名簿で、備考欄に新規とあります下の 3 名を新たに、審議会委員として委嘱したいと考えております。これまではですね、中田委員さんのお父様以外は、大体日本史を専門とする方が多くてですね。今までのない分野の方にもお願いしたいというところでこの 3 人、選ばせていただいたところです。松尾さんは、境港アーカイブスの代表で、建築の分野に詳しい方です。山本さんは山陰歴史館の副館長で文化人類学とか民族の分野に詳しい方です。最後、渡辺さんは水木しげる記念館の学芸員で、美術版画の分野が専門分野であります。今までの 5 人の平均年齢が 80 歳を超えておりまして今回若い方が入れました。説明は以上です。

大部委員

任期は最長で何年、というのはありますか。

角課長

ありません。本人の意志で決めています。今回辞められた方も体調面の問題が理由です。

渡邊委員

会合は何回くらいあるのでしょうか。

角課長

年 2 回です。

山本教育長

質疑がないようでしたら、議案第 26 号につきましてはご承認いただけますでしょうか（異議なし）。

続きまして議案第 27 号、境港市子どもの読書活動推進計画検

討委員の委嘱について説明をお願いします。

角課長 議案第27号は、境港市子供の読書活動推進計画検討委員の委嘱についてであります。本市の読書活動推進計画は、第一次計画を平成17年、第二次計画を平成29年に策定し、今回は第三次の計画になります。一次と二次の計画は、地域教育委員会と図書館連絡協議会の委員で策定しておりましたが、今回の計画では、新たに要綱を定めまして、境港図書館応援団団長であります十河委員を含めました、8名の委員を新たに委嘱したいと考えております。公募委員は昨日決まったところです。

中田委員 公募は何人来られましたのでしょうか。

角課長 公募は2名でした。

中田委員 公募でとなると意識の高い方でしたでしょうか。どこかでお手伝いでもしてもらえたらと思いますが。

角課長 作文で審査をしたのですが、お二人とも意識が高く、もう一人の方は米子市の学校図書館司書の方でした。二人とも若い方でした。

山本教育長 これは子供読書活動を推進していくためですが、改定が延び延びになっておりまして、それが滞ってたものを、もう動きましようということで、境港にとっては第三次の改定になります。本当は五次六次ともっと進んでおりますので、今の視点で読書活動、或いは市民図書館を中心にした連携をさらに強化したり、そういうところをまた委員の皆さんでご審議いただきながら進めていただければと思います。質疑応答はないということで、ご承認いただけますでしょうか。ありがとうございます。

続きまして、議案の第28号ですね。境港市社会教育委員の委嘱についてということで、説明をお願いします。

角課長 境港市社会教育委員の委嘱についてであります。現在の委員の任期は、これも今月の6月31日までとなっております、7月1日から新たに年間でスタートするものであります。委員の名簿にあります方の中で11名の方が継続になっておりまして、

備考欄、新規となっています4名の方を、7月1日付けで委嘱したいと考えております。山根校長先生につきましては、小学校長会会長の変更に伴うものであります。江尻さんにつきましては、小学校PTAの充て職となっております。今回、水木しげる記念館のゼネラルマネージャー木下雄一さんと境港市図書館連絡協議会で、元地域おこし協力隊の仲里心平さんに、新しく委員に入ってもらおうこととしております。

山本教育長

この件につきまして、質疑等ありましたらお願いします。
(質問なし) ご承認、いただけますでしょうか。(異議なし)
ありがとうございます。

続きまして議案第29号境港市就学支援委員会委員の任命についてということで説明をお願いします。

築谷主査

議案第29号は、境港市就学支援委員会委員の任命についてです。12ページに委員名簿を挙げておりまして、任期が令和6年8月1日からの2年間ということになってございますが、昨年度末の人事異動や役職の変更に伴いまして、新たに後任の方に新規として入っていただいております。まず医師の代表としましては、療育センターの小枝医院長さんに新規で入っていただいております。また、有識者ということで、中浜小学校、水島志津子校長に入っていただいております。また児童福祉施設等の職員ということで、こちらも人事異動で、副校長が校長になったこともありまして、このたび、委員が教頭職の松井教頭先生に新規で入っていただいております。あと教育委員会事務局も、人事異動がございましたので、今年度から、北野次長に委員として入っていただくということになっておりまして、15名ということで、8月と12月に、就学支援委員会を開催して審議していただくというメンバーになってございます。どうぞよろしくお願いします。

山本教育長

今、説明がありましたけど、何か質疑等ありましたら。ドクターの小枝先生は30年以上前から、境港市の就学に関係しておりまして、前は就学指導委員会と言っていましたけど、その座長をしてくださっておりまして、そのあと東京の方に行かれてる間は前垣先生。それから療育センターの汐田まどか先生につないでいただいて、また、東京からこちらへ帰っていらっしゃっ

たので、今年療育センターの院長に就任されています。ということで、非常に境港とは繋がりをずっと持っていていただいている先生です。ありがたいなというふうに思っています。質疑等ございませんでしたら、ご承認いただけますでしょうか。（異議なし）ありがとうございます。

続きまして、議案第30号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてということで、説明をお願いします。

角課長

議案の第30号、境港市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱についてであります。運営協議会委員の1人がまだ決まっていなかったところですが、小教研の生徒指導部担当校が今年は余子小学校で校長先生になっておられまして、その関係の地区の部会長さんが基本的に、この運営協議会の委員になられるということでして、余子地区の部会長の佐々木達也さんを、今回、協議会として委嘱を考えております。委員の任期としましては、前任者の任期の残任期となります令和7年7月1日から令和8年5月31日までとなります。説明は以上です。

山本教育長

今説明がありました議案第30号につきまして何かご質問等ありましたらお願いします（質問なし）。それでは、ご承認いただけますでしょうか（異議なし）。

議決の事項は以上となります。

続きまして、6月定例市議会教育委員会関係質問答弁についてになります。ご質問等ご意見等ありましたらお願いしたいと思います。

渡邊委員

「アイシグナル」についてなんですが、以前教育長からいじめや悩みについてのプログラムと聞いていましたが、今年から使い始めたのでしょうか。これにより画期的に解決したということはあるのでしょうか。

築谷主査

導入したタイミングは令和元年度だったと記憶しています。子供たちはいつでもアクセスできるQRコードを持っていて、通報したら、学校のメールと教育委員会のメールに、瞬時に行くというようなシステムになってます。最初はいたずらとかですね、いろんな懸念があって、そういうシステム導入することに対してはどうかという意見もあったんですけど、

いざやってみますと、いたずらは、ほぼないというところです。小中合わせて大体年間10件ぐらいは、やっぱり来ます。メインは子供同士のトラブルで、こんなこと言われた、あんなことされて困っているという主訴のものが中心です。学校とすぐ共有をして、手がかりがあれば、すぐ当たります。そして解決に向けて対応します。解決案もあります。手がかりがない匿名のものもございまして、そういった場合は、聞き取りを全体にするとか、投げかけるとかですね、緊急でアンケートを取るとかっていう対応をしながら、せっかく子供たちが出した声について、我々も反応すると言ったようなことをやっておりまして、非常にいいなあと思います。悔しかった思いを子供たちは自分たちのタブレットのアイコンでパッと送れますんで、こんなことがあったのかっていうことがわかります。ただ子供たち同士のトラブルだけではなくて、中には先生方や大人に対しての不平や不満も出てきてですね、こんなことを先生に言われたみたいな。ある意味ちょっと目的とはちょっと違ったところでも、子供たちは意見を表明できるっていうところがありまして、それもそれでいいんじゃないかというようなことで、子供が声あげる1つのツールとして活用してるなというところでございます。

渡邊委員

学校はわからないですか。個人特定はできるのですか。

築谷主査

学校もわかります。名前を打てば特定できますけれども、どのタブレットから送られたかっていうのも、基本的にはシステム上でもやっぱりわからないみたいです。例えば死にたいってつぶやいたときに、即座に、どのタブレットが送られたか調べようと思った時期があったのですけども。そこもやっぱり特定できないということを、ケイズや、このアイシングナルの会社から言われました。そういうあたりでは、完全な匿名っていうところはあります。

教育長

子供らが訴える手段を多数持っているっていう形ですね。だから劇的に解消するというようなものじゃなくて、これだったら言えるとかね。それが、県の今の生徒支援・教育相談センターと境港市が最初に提携を結んでスタートして、これはコロナの前に導入しました。そうしたらコロナが発生したことにより1人1台端末があるから、これに全部に入れとけば、みんなが

打てるということになって。これをやっているのは境港市だけです。このアイシグナルを入れて、すごく解決するってわけじゃないですけど、要するに不登校がこの部屋だったらいけるよってというのが、こっちもある。いや、やすらぎルームだってあるよ、こ・ラボだってあるよってというような、何か選択肢の1つ1つになってるってことです。今、築谷主査が言いましたけど、割と早く声を拾えて対応できたってというような事例の方が多いです。

渡邊委員

やすらぎルームさんが、参考のところの行事で園児との交流体験ってされていますよね。たこ焼きづくりとかも。これは、どういう形で取り組みされているのでしょうか。

築谷主査

ちょっと過去の行事になっておりまして、基本的にコロナ禍前の行事も入っております。園児との交流がどのような形で行われたかっていうのは、ちょっと私も把握しておりません。こういうこともされていたんだなあというような、実績としてでありますか、コロナ禍以降は止まっているところです。

渡邊委員

多分ちっちゃい子の交流だとすごく何か有用感ってすぐかもし出してもらえるとありますがそれが反対に嫌だって子もいますし、難しいですかね。どういう形でされているのか興味がありまして、すみません。

教育長

他にありますでしょうか。

十河委員

スクールソーシャルワーカーの配置状況についてですが、2名体制とか1名の退職で今は1名と聞いてます。やっぱりなり手がなかなかいらっしやらないのでしょうか。2名じゃなくてももっと増員していただいてもいいぐらいの勢いだと思いますが1名じゃとても負荷が高いのではと思います。

教育長

今は新規で入れてもらった、中村将人さんを、会計年度の指導主事という役割で採用してもらい、現職で現場から来ています築谷主査や、若林係長や松本主幹の、補助的役割もやっていただくようにしたんですけど、SSWの方の仕事の方が日々、学校でいろんなことが起きますから、今は中村担当指導主事に

ちょっと、SSWの方の仕事のお願いをしてですね。スクールソーシャルワーカーの仕事の方が今、9割5分ぐらいで、なかなかこっちの仕事を少し手伝ってもらったり、或いは新任管理職へのサポートというような仕事ができなくなっているというのが現状です。やっぱりその、どっちを先にするかと言えば、困っている子供や、先生方の或いは家庭の相談に乗るっていうような方を今は優先しています。なので、中村担当指導主事は今はもうべったり、1人いらっしゃる岡崎SSWと一緒にやっています。さっきちらっとお話が出たように、社会福祉士、精神保健衛生士というような資格がある方が望ましいといっておきまして、その資格を持っている人が一人島根県の高校のSSWを当たっていたのですが、やっぱり仕事の方がそっちの方にウエイトを持っていかれまして、こっちにはやってこれないということでした。今も募集はかけてるんですね。

築谷主査

今募集はしていません。

教育長

なので、今は何とか急場をしのいでいるっていう状況ですけど、やっぱりそれでもいっぱいいいですね、さっきおっしゃったように、2人に留まらず本当は3人、特別支援コーディネーターもなんですけど3人、3というのは一番理想的な数になるだろうなあと思います。理想というか、現実的な数、件数からすると、数になると思うので、これ諦めずに取りしていきたいなと思っています。SSWも特別支援コーディネーターもどうしても校長先生上がりをお願いした方が、よりうまくいく場合の方が、ベターになるだろうと思っているものですから。その辺りでは、ちょっと何とか、次年度に、退職になられる先生に、何とか来てもらえるような方向で描けんかなとは思っています。中村担当指導主事が本当にいい動きをされているので助かっています。

北野次長

補足ですけど、先ほど教育長が言われましたが、事務の方で、6年度の決算をやっておりまして、その中に成果と課題を出すのですが、その課題でも、やはり2名では足りないという、教育総務課としてもそれは考えていることは決算に出してます。今教育長が言われたとおり、引き続き何とかしていきたいと思っています。募集はやめたわけじゃないですけど、先ほど、今、募

集するのって言われたときに、今はしていないというのは、その良い方がなかなか見つからないものでして、すみません。

中田委員 資格があってもいいですけど、経験値が物を言いますよ。

教育長 他にはいかがでしょうか。

大部委員 児童クラブの運営についてですが、支援員さんが不足しているとか、あと以前は、低学年1年生から3年生までだったのが全学年を網羅するようになったり、施設も昔の幼稚園を使っていたり、学校内に設置とかというところでそれぞれの学校区で、いろいろ皆さん工夫されて、いろいろな対応されています。私も関わっていたので、いろんな移り変わりっていうのがあって多分、今現在のニーズに合わせたようなこと、試行錯誤されながら教育総務課の方でされてると思いますが何か、人だけが不足してるのが課題なのか、何かこう、あり方的なところが何かいろいろ課題であるとか、保護者さんのニーズもちょっと変わってきたりとかもしてると思うので、何かその辺の現状をもし伺えたらと思います。

北野次長 学童の方ですね、大部委員の言われた通り市内6ヶ所で今やっています。それぞれ人も、預かる児童も、施設の広さによって違います。あと指導員も主任さんがおられて、あと主任指導員さんと指導員さんで、大体4名体制でやっていますが、指導員さんのところがですね、なかなか市の方も教育ができてないっていう部分もありまして、きつい言い方の指導員さんもおられたりですね、そこら辺が子供さんと合わなかったりもあります。4月にお試しで入られる子供さんもおられるんですけども、ちょっと雰囲気合わないとか、おばあさんに見てもらおうようになるとかあります。一応研修とかですね、年度初めにはするんですけども、なかなか効率的にこうやりましょうというのが必要じゃないかなっていうのが、今思ってるところです。この中でも民営化の話が出ています。民営化って言うてもその、運営部分だけを民間に委託したいと思っていますが、民間と話をする中で、統括コーディネーターを1人置いて各園各クラブも、同じような指導をされるということでした。そういうところができるので、やはりそういうところが必要なのかなと思っ

て、今その検討に入っているところです。子供たちが安全安心に居てもらうためには、指導員の確保というのが大切。今回3人が今年度始めから不足していたため、面接したのですが1名しか雇ってなくて、あと2名足りない状況です。やはり市だとタイムラグがありますが、民間の場合、他の施設でやっている人を連れてきたりとかですね、民間は早く動ける部分もあるんで、そこら辺も繋がるので、そういうところがちょっと行政ではやりにくいと思っています。実際今全国的に見ても76%ぐらいが民営化、運営部分の民営化とか、本当に民営化とか指定管理とか出してやっていますので、その流れもあるので、いいところは取り入れたいなと思っているので、そこは検討していかないといけないかなと思っています。例えば子供さんももう、最初は1年から3年生、途中で4年から6年生まで上げたのですが4年生はまだありますが、6年生はそんなにいないのが現状です。

大部委員

夏休みとか大変ですよ。自分も経験していますから。

北野次長

今まで3時間ぐらい勤務の指導員さんも、皆さんが5時間に増えるので、やはり8時半から18時半までやって、結構大変なので、今、指導補助員さんとか、学校給食の調理を受けてもらっています東洋食品さんにお声掛けして、この機会に働かないですかっていうことで、候補者を聞いているところです。そうやっていろいろな人がかなり必要なところなので、そこは毎年そういうことで、いろんなところをお願いしてもらってます。

大部委員

今の学童に伴って、余子公民館が放課後預かる取り組みは今も行っていますか。規模を拡大、他の公民館に広がっているなんてことはあるのでしょうか。

十河委員

水曜日にやっていたはずですが。水曜日の週1回、そこはあまり拡大とかされてなく、他の公民館に広がってるってわけではないですね。まず登録制で限定的な形だったと思います。外江公民館もしらお塾をされている場合ですけども、それも本当に日を10日とか限定的な預かりというか、保護者さんがお迎えに来るっていうのでされてますけども。あくまで数は多くないような感じです。

大部委員

なんか昔よりも、今の方がそれこそ、子ども食堂みたいなことで居場所づくりになっている。昔はその学童って単にちょっと預かっているだけで、保護者の方のお迎えだとか。３年生まで少し１人にしておくと気になるっていうようなことがあったこと。だから、ちょっとこう、質が変わってきたんじゃないかなと思って、求められてるものっていうのはどうなのかなっていうのを思います。今、それこそ公民館が居場所づくりを作っている、この子どもバージョンが拡大するのかなのかとかは、公民館同士が連携がするはどうかっていうものなのかなと思います。

北野次長

昨年からだったかな、境公民館で夏休み中は、朝、８時半ぐらいからラジオ体操して、そのあとちょっと宿題を見たりしている取り組みをされていました。各公民館いろいろされてるみたいなので、なんかそういうのが広がっていけばいいのかなと思う。やっぱり公民館、地域、そういうところで子どもを見てもらえると、学童もちょっとキャパがあるので。今民間も２社あるんですけども、難しいかなって部分もあるんで、ただ選択肢が増えてるので、それはいいことかなと思います。

十河委員

子どもの居場所という観点で言うと、各公民館さんいろんなことされているんですけど、何か公民館さんによって考えも違うので、子どもが集まることももうなんか全然違って、身近なところと言うと渡公民館だと、本当子供の遊び場みたいな形になって、この前活動をさせていただいたんですけど。室内でボール使ったりとかは、もう本当に、蛍光灯が割れなかったらいいなと思ってるんですけど。空調工事をされてるので、そういうのが妥当だと思うんですけど。

大部委員

あと学童のところは、先ほども質の統一化というか、結局学童に行くと先生って言われるんです。私もそうでした。近所のおばちゃんも先生っていうところになってくると思うので、そうなったときのその質の統一とかやっぱり言葉の使い方とか、個別対応っていうことが求められ、多様性っていうのはやっぱりこう、学んでおかないと、やっぱり人員不足のところとなり手が少ない。やっぱり何か難しいというか、やっぱ大変な場所

っていうか本当にいいのかなというふうに思います。

中田委員

学童民営化ということも、根本のところをちょっとお伺いしたいんですけど、境港市の民営化ということが、児童数の減少に対して成り立つものなんでしょうか、実際のところ。これからやっぱり子どもが減っていくというところで、結局これから民営化ということになったりしても、それが運営できなければっていう、民営化ということにまず向かないような気がします。やはり、何かあってそれに対して付属するような受け皿があってということだったらまた話はわかりますが。

北野次長

民設民営は難しいと思います。先ほど言いましたが、運営部分だけを委託ですね、責任とか施設の設置とか管理は市が行います。ただ、運営部分の指導員とか、その中身の指導の部分とかを、民間さんに任して、その分の運営費は市が出します。そこで受けられる民間も、そういう形だったらできる。指定管理も同じで、やっぱり、市からお金を出します。それで運営できるようなお金は出してます。ただ、民間が本当に単体で施設を持ってやるのは難しいと思います。利用料を本当に高くしないと、上がってくる収益が少ないので。うちで1人3,500円、それが1日で50人あったとしても、そんなに収益は上がりませんし、いろいろ経費もかかりますので。人件費プラス、管理してもらっているお金を民間に出して、その部分を請負っていただくという形だと思います。それだと成り立つかなと。本当は公がしないといけないと思いますが。

中田委員

多分単独ではなかなか難しいなと。何かしらあってそん中で人件費とかもひっくるめてってということで、そういうことを考えながらってことだったら成り立つかもしれないけど、単独でってことだったら採算は合わない。

渡邊委員

今2つの民間の児童クラブというところでしょうか。

北野次長

フロムキッズってところがございます。

大部委員

渡にあるのは何ですか。

十河委員 あれも児童クラブですけど。家の前にあって、毎日見えています「After school fam渡」というものです。

山本教育長 MAOと同じようなものでしょう。

十河委員 障がいのあるお子さんを学校に迎えに行って、保護者さんがこちらに迎えにくる形です。結構お子さんは10何人か持っているのかなという感じではあります。

大部委員 それなりに車が止まっているので、渡にあるそれが私は学童だと思って、それが民間の運営と思っていましたが、それは違うんですね。

渡邊委員 フロムキッズというのは、全くの民間でしょうか。

北野次長 全くの民間の企業です。

大部委員 そこはお幾らぐらい取られているんですか。

北野次長 市からは補助を出しています。

渡邊委員 特徴的な何かじゃないと、民間は。でも、それだったら、公立より高くても、行かれる人はあるかもしれません。

大部委員 また何かしてもらえることが違うんですかね、宿題見るだけじゃないところもあるのかな。

角課長 夏休みはさらに高いはずなんで。1万3千円とかなんか聞いたことがあります。

渡邊委員 そうやってると体験を増やすとかしているかも。

十河委員 三軒屋のフロムキッズは多賀先生がされています。

北野次長 1年から6年まで。ある程度子どもはおられます。公立は6年生はほとんどいないですけど、そこはちゃんと各学年が何名

かずつバランス良く子どもがいるなと思いました。

大部委員

何かすごい話がずれるようで。ここにあるんですけど、学童が始まったってもう20年近く前でしたっけ。もっと前、25年ぐらいからですか。最初は各校区でやられてました。途中から市が一括してやるような形になったと思うんですけど。学校の中とか、市が当事者として、いつからですか。何かこう、それに伴って、子供たちの運動能力が低下してるってことはないですか。例えば、行きは歩いて行くけど、帰りは全部送迎ですよ。なんかこうなって、この6年生まで拡大した時に、1年生から6年生まで。歩く距離がすごい少ないようなことが、少し何かそれ以外にも、もう二極化にはなってるんですけど。なんかそういうことであったりとか、自転車通学がちょっと校区が広がるのでこれいたし方ないのかなと思うんですけど中学生は。なんかそういうのも、いろんな時代の流れの中で、さらに、あんまり体育でも運動をしないみたいなことだったり、これから先、水泳も少し時間が少なくなってる。これが悪いとかじゃなくて、何かそれに代わるものもちょっとずつ考えていかないと何かこう、運動するようなことが減っている。例えば幼稚園でも全部送迎だったりとか、歩く時間が田舎だから我々も車社会とかってなったりすると、歩く機会がますます少なくなっている。この20年ぐらいなのかなっていうのを少しちょっと思ったりしてます。

十河委員

ちょっと私も話がそれるかもしれないですけど、今日渡小学校の読み聞かせボランティアとき、必ず僕ちょっと早めにいって、子どもたちに「おはよう」っていうので、声掛けするんですけど。ちょっとポツポツした雨だったんですけど、かなりのお子さんが車での送迎しておられるのにびっくりして、もうそれで渋滞が起きるような、びっくりしました。いや、この時期別に濡れてもどうもない、吹雪でとか大雨でとか、よっぽどこうあればその送迎もわからなくもないんですけど。こんなちょっとした雨でこんなにたくさんの保護者さんが送迎し、子どもたち歩いてこないのかなと思う。うちもずっと小学校まで結構遠い2キロぐらいだったんですけど子どもを送迎したこと1回もなくて、中学校もなかった。高校は結構送迎しましたが、小学校と中学校で全然送迎したことないのに、これやっぱり足腰

鍛えられないよなっていうふうに、率直に大部さんの言われるようなことは思います。

大部委員

少しだからこれは端を発するじゃないですけど、子どもの少し環境が、何か余りにも少しなんていうんですかね。言い方をちょっと考えなきゃいけないですけど、もうちょっとこう、健康的に力強くなんかこうね、エネルギーをつけていくことが必要なのにそれを少し、大人の手で少しこう、先に補助しちゃうっていうこととか、何かそういったことも、考えて危険を回避するのも、もちろん大人の役目だけれども、それがしすぎる傾向にあるものに、少しまた目を向けてもらえる教育というか、学校内の関わり方を先生達も一緒に何か考えてもらおう。それは保護者の方もっていうふうにしていかないと、またこの4・5年の中で、いろんなことが、日本の国内じゃやっぱ世界ともう本当に差が開いてしまってるなっていうのを本当に実感をするので、危惧してます。本当に、日本は危険な国になるというか、生きていくのに、大丈夫かなとすごく思います。ちょっとごめんなさい。

中田委員

大事なことだと思うんです、私も感じているところです。見方によってはやっぱり以前の通学の距離が大変でバスを出せとか何とかですね、そういったところっていうのと目的を明確に違う部分に持ってくるとそれとかもやっぱクリアになってくるっていうことになってきますよね。冬は大変な距離があるから、全部荷物も持たせて歩かせるって大変だからバスをだせ。境港の方とはそんな距離はないしっていう話だったけど、でも今の話でいくとやっぱり、体力的なものとか、そういった、まず生きていく力っていうのは何かそういった理由づけっていうことを明確にしたとき、そうするとそういったことを明確にしとけば、バス必要ないですよっていうふうに逆にいえるような格好になるといいかなと思います。

築谷主査

そういうご意見いただくと大変嬉しく思います。プールですべての学校、今5校参加していますけど、例えば二中から市民プールってかなり、極めて短い距離も、やっぱりバスを出すということが当たり前に流れていますし、年間行事の中で、例えばみなとテラスで何かイベント事や催事をしたりとか、水木し

げるロードに見学に行くというような企画なんかも、基本バスありきなんですよ。どうしようっていうふうに迷ってるんですけども、例えば遠足を兼ねてオープンにしながらいくとかですね。そういう今委員の皆さんから力強いご意見いただきましたので、歩いていこうみたいな。やっぱりどうしても、先ほど中田委員さんが言われた通り、重たい荷物での熱中症がどうなんだとか、寒い中で、危険じゃないかとかですね、不審者が来たらどうすんだみたいなリスクばかりが頭にあるんですけども、やっぱり健康のことを考えると、その時間のタイパをやっぱり意識するがあまり、子供たちが窮屈なスケジュールで動いてるってのは実際ありまして、そんな中でやっぱり少し余裕を持って歩いて行ってみようとかですね。そういう企画が学校から少しずつ出てくるといいのかなあと。今、渡小学校、連合で竜ヶ山に行くだけでもバスを出していますし、40万使ってるわけですよ。それは、今はもう当たり前になりつつあるんで。その保護者さんや学校の方との意見も少し、転換していく機会に、委員さんの方からご意見出たと。いうようなところも、後ろ楯としては、ありがたく思ってますし、確かにスポーツをされてない小学生は、かなり肥満傾向は強くてですね。やってる子はもうバンバンやりますし、それやっぱ二極化って先ほど言われた通りで、すべての子供たちに、同じだけの力をつける必要はないと思うんですけども、ただ基礎体力というか、基礎的な体力をつける時期に、ある程度体を動かしたエネルギーを消費しとかないと、健全な発達に繋がらないんだろうなと思います。今のご意見は、とてもありがたいなと思いました。

大部委員

何か目的が大事だと思うんです。なんか現象ばかりを何か回避して、つぎはぎだらけでその場その場でしのいでしのいでってというようなことをすると、多分、さっきみたいに言われたからバスやんなきゃ、言われたから危険回避しなきゃいけない。目的を、何のためにこれやってるんですかって皆さんが立ち返ることに言えば、そうなんですよっていうところになっていくと思うので、何かそういったことで、何かこう、目的を皆さん意思を統一するみたいなものをもってやるのがすごく、物事を推進していくのには大事なのかなって思ったのとあと、まちを知るためにも歩くっていうのもすごく大事なかなとったりとか、あと今やっぱりこないだもありましたけど、自転車の乗り方す

ごい最近よくないなと思う。これから罰則っていうものが入ってくるときに、もうちょっと車両だっていう認識を持つことだったりとか、やっぱりヘルメットとかスマホとか持ちながらやっぱり中学生もスマホとか持ちながら普通に、運転しているのを見ると、これいつ事故が起こるんだろうとか、すごくこの間新聞やっていました、やっぱ交通ルールを余子小学校でしたっけ、グラウンドで何かやってたですけど。本当に交通ルールの中やっているのかなとか。小中じゃなくて高校生もやっぱりそういう、何ていうかな、自分の命を守るっていうか、健康になってやっぱりその、糖尿病にならないとか、もうね今低年齢で糖尿病になるのがすごく増えてきてるというか、聞いたこととか医療費これからずっとその子も払っていくんで、10歳の子が90歳になるまで80年間医療費を、これ、国民が賄っているんですよっていうようなこととかも含めて、そこまで教える必要もまだないのかもしれないんですけど、そういう認識とかも、多分、海外そういう認識持たせているんですよねもう。お金の使い方とお金の流れているもの、流通の仕方とか、そういったことがすごく日本は遅れているなとすごく思います。

十河委員

その自転車のやり方が悪いっていうのあって、僕なんかも見かけると、こうやって、慌ててヘルメットをかぶる子もいたりしましたけども、この前三中にあいさつ運動に行ったときに、生徒たちがみずから、私達、自転車の乗り方がよくないよねっていうので、執行部の子たちが声かけ、お互いに声掛けをするようなことを取り組みをね、していたので、これがいいよね大人から言われたら、なんだと反発を買ってしまうんだけど子供たち同士で自分たちで危ないよね。どうしようかっていうことを考えて行動を起こしてる。今三中の生徒会とかやってたので、すごくいいことだなと思って、頑張れ頑張れと思って応援してるんですけど、そういうふうになんか子供たちでみずから問題点をね、提起して、解決していく姿ってすごくいいなと思って応援してます。

中田委員

罰金とかっていうふうになるときに、親に負担がかかりますよね、負担があるということは、小遣いが減らされるってことだよっていうふうにつながらないかな。

十河委員

何故かぶらないといけないのかとか、そういうことを考えるようになると。子供たちがね、自ら考えられるといいかな。

中田委員

バイクがね、原付なんかでも今はヘルメットをかぶります。昔はかぶらなくても良かった時もあったんですけど。やっぱりそれまでちょっと大きなバイクに乗っていたのが、ヘルメットかぶってて、それがヘルメットなしで原付に乗ったりするとすごく怖い感じがあったんですけどね。やっぱりそういった慣れっていうか、意識というか安全意識っていうか、やっぱそういったものが身についてないと、というところがまず一番にあるだろうし、でもやっぱり、そういったさっきから言ってるリスクが、あれがどうだったから熱中症になったとか、不審者が出たとかいろんなリスクがありますよ。ていうそういったことをみんな親とか周りがみんな回避してしまっているじゃないですか。やっぱりそれを自己責任としてというところをもう一度植え付ける必要は今の時代、絶対あるはずなんですね。自分の身は自分で守るっていうこと。これから海外に出ていったりとかっていうふうになっていけば、なおさらのことだと思う。自分の身は自分で守ることを常に考えておくっていう。そういったやり方ってのは、もっと、もっともっとやっていく必要があると思うところです。

山本教育長

他の話題ではいかがでしょうか。協議事項は以上となりますが、続いて、予算関係事項ということで令和7年度6月補正について説明をお願いします。

北野次長

資料をつけておりませんが、6月補正を、教育総務課からではなくて財政課の方から議会へ出してまして、6月18日に上程されました。内容はですね、国の方から物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金というのが出まして、本市に配分があったのが、1500万円ほど配分がございました。これを活用してですね、令和7年度から給食費が小学校ですと17円、保護者負担が中学校ですと18円ほど高くなっております。その部分に充てるということで、財源振り替えの予算を出しております。結局今年度分を元に戻します。今は6月分までもう納付しております。給食費の4月分は納付がありませんので、5月6月分の取った分は、翌年の4月に精算していますのでそれで対応します。7

月分からは減額したやつで通常どおりになります。その中で、議員の方から1点質問がございまして、来年度交付金はあるかわからないが、どう考えているのかっていうことであつたんですけれども。角本補佐の方に答えてもらったんですけども、国の無償化、一応来年度から小学校が始まるって言ってまして、次に中学校もできる限り速やかに始めるというので、政府は言っております。ただこれがわからないので、それを見ながら進めていくと。ただ、来年度の交付金がなければ、中学生は今年度から値上げした額に戻すということで回答しております。やはりちょっともう一旦そこで額が決まっていますので、そこが今、基準なのかなと思っています。今回の、予算は国の交付が出たので、保護者の方に還元したということです。

山本教育長

それでは、予算関係の補正といいますか追加事案になりますけど。これについて何かご質問等ありましたらお願いします。ないようですので、質疑応答はこれで終わらせていただきます。本日の協議事項は以上となりますのでここからの進行は事務局の方にお任せします。

4. 報告事項】

事務局

それでは、報告事項・行事予定について、教育総務課、生涯学習課からお願いします。

《教育総務課 生涯学習課 行事等報告》

※築谷主査より 定例校長会、小学校修学旅行、とっとり学力・学習状況調査、6月定例市議会、中学校西部地区総合体育大会、国際理解教育推進学習説明会、伊平屋村教育交流事業学習会・体験活動等について説明
角課長より シンフォニー少年少女合唱団保護者会、境港市合唱祭 2025、境港市スポーツ少年団総会、境港市文化協会総会、定例公民館長会、第9回ボッチャ大会、図書館連絡協議会、境港市美術展覧会等について説明

《図書館 利用状況等報告》

※資料配布

事務局

ただいまの行事報告・行事予定について質問等ありますでしょうか。

大部委員

今ピアノコンクールが4年ぶりに文化ホールに変わる。多分これからこっちとこっちをどういうふうに活用していくかみたいなことって目的によって使い分けるのかどうなのかっていうのがあると思うんですけど、また、これが何か理由がありますか。もともとこっちでやっていたから戻しましょうみたいな形なのでしょうか。

北野次長

テラスができる時に、やっぱり音楽専門ってことで、文化ホールを残したっていうのはあるんですよ。結局文化ホールは400人ぐらいしか入らないし、こっちは800人なんで、多目的な中程度の音響なので。文化ホールはこの前工事したときに音響測定して、よくはしてますので、あとキャパ的にもですね、コンクールは、コンクールの参加者しか来ないので、お客を入れてやるわけじゃないです。なのでピアノコンクールの方は、毎年やってたんすけど、工場関係でテラスに移して、やっぱり音響の良い方に、先生方もそう言われてるので、やはりあちらの方でやるということで、戻しました。音楽専門はやはり文化ホールを使っていくのかなと思います。

大部委員

少し目的に応じて変えていかないと。工事後は雰囲気もいいですからね。一体感あって、同じ400人が多分入っても違います。これからね、多分使い分けられていくんでしょうね。

北野次長

多分そうやって使い分けないと、全部こっち側にしてしまうと、あちらを残した意味もなくなるし、あちらもやっぱり、ある程度お金をかけて改修しています。ちょっと広がって、評判が良いみたいです。

事務局

他にありますでしょうか。

十河委員

市美展に関してなんですけども、ここ近年はこの7月、大体6月の下旬ぐらい開催っていうことで、ちょっと調べてみたら、令和5年6年7年だけこの同じ時期。調べてみますと、ちょっと遡っていくと4月だったり5月だったり、11月に開催されたり結構バラバラした時代があって、作品を作る人からしてみるとそこを目標にしておられる方は、その作品制作に何か県とかだったら大体実施日が固定されてるじゃないですか。そこに向かって作品を制作されると思うんですけど、この近年やっぱり、

6月下旬、7月上旬ぐらいに固定化されてもやっぱりそういったことから難しいのかなと思いますが、

角課長 早めにその案内を出しますんで、やっぱその日に向けて制作されたりとかしていただければと。

事務局 以前は市民会館で6月の時期やってたんですけど、解体工事とかあって、そうすると開催する場所がないってところで、みなとタワーでやって今度は、テラスができるっていうことで、テラスで開催、そういうふうになっちゃって、建物がないところもありましてバラバラしていたと時期もあったと思いますが、基本的には昔から6月の開催が定着はされてると思います。

十河委員 結構バラバラしていましたので、近年は固定化、元に戻ったのか、固定化されたのかがわからなかったの。やっぱり固定化しといた方が大きい作品を作られる方とか、そこを目指してされると思うので、よかったかなと思っています。

北野次長 去年からデザイン部門っていうので、ちょっとなかなか素人は難しいんだけど、だけど、デザイン部門ってのはやっぱり高校生も結構参加があります。そこが伸びてくればと思いますし、去年は若者が増えたので、その課題もクリアできたので、今年もそこが伸びてくればと思っています。若者の参加は、やっぱり去年の反省会でも言われましたので、やっぱりそれでデザイン部門をしたっていうのは良かったと思います。

十河委員 この子ども工作教室の作品もあってますもんね。
角課長 子供工作を置くスペースがないくらいたくさん作品が集まればいいですね。ただデザイン部門もちょっと午前中の間はまだまだちょっと1件も来てなかったんです。

事務局 他にないようでしたら、次回日程を確認します。

【5. 閉会】

山本教育長 それでは本日の定例教育委員会は閉会といたします。ありがとうございました。